



## 展示解説シート

# 世界の鬼面

### 世界の鬼面

いわゆる鬼的な存在は、日本ばかりではなく世界各地にも見られます。そのすがたは、それぞれの地域、民族、時代によって異なりますが、「秩序からはみだした、混沌の世界に潜む超越的な力」をさしており、「人が操ることができない存在」であるという点で共通しています。人は、思わぬ不利益や、理由のわからない出来事の原因を鬼や魔神の気紛れな仕業として恐れ、これをまつり、鎮めることによって取りのぞこうと考え、さらには利益に結び付けようとさえしました。

鬼、悪魔、魔神、神などの多くは、偶像崇拝を禁じているイスラム文化圏を除いては、像や仮面にかたちづくられます。この中には、動物や昆虫の精霊を表した悪魔面もあり、命にかかわる猛獣や毒蛇、大量発生が飢饉の引き金になることもある昆虫などが表現されています。そしてこれらは「魔神」によって操られていると信じられました。魔神は、災いをもたらす恐ろしい存在ですが、守護神としてまつることにより強大な力の象徴に転化されていったものも少なくありません。

### アジアの鬼・悪魔

アジア域、ことに東アジアにおいては、古くヒンドゥー文化の影響を受けている地域が多く、この世界においては、神（善なるもの）と魔（悪なるもの）との区別がつきにくいという特徴があります。

ヒンドゥーの神々は、聖魔両面の顔を持ち合わせており、これはヒンドゥーの神話に由来するものと考えられます。

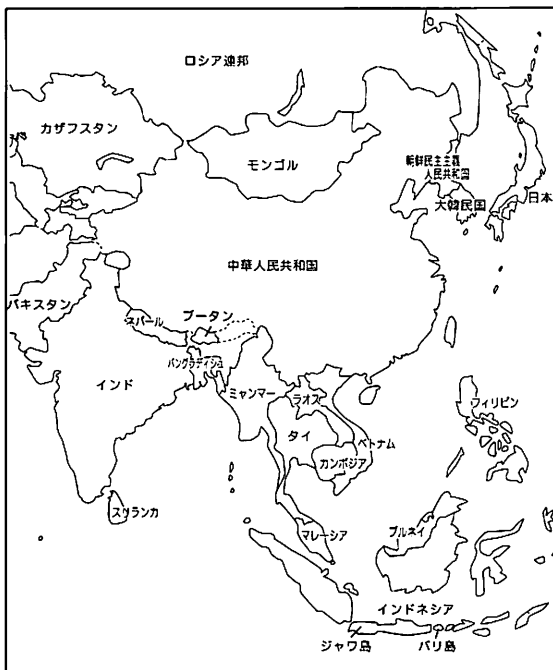
ヒンドゥー神話に登場する神々や魔神たちはたいへん人間味が豊かです。男神は女神をめぐって争い、魔神・アスラと相通じ内輪もめな

ども起こします。さらには、力不足のため思うに任せぬ時は、自らが結んだ約束を破りアスラをだまし討ちにしたことさえあります。

ヒンドゥー教の最高神であるシヴァ神は、創造神と崇拝される一方でその憤怒相（怒りをあらわにした姿）はバイラヴァと呼ばれ、世界に終りをもたらす破壊神としておそれられています。信奉者には絶大な庇護を与える一方で、敵対するものには徹底的な破壊をもたらすという両面を併せ持っているのです。

タイの宮廷舞踊コーンの魔王トサカーンは、悪の権化として登場しますが、厳しい修行により神々に匹敵する力を得たと言われており、その意味では神々と同等の存在と考えられています。

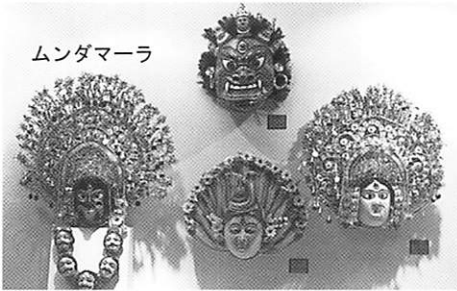
ヒンドゥー神話では、このようなことを反映して聖魔の争いに勝敗がつきにくく、互いに張り合う力関係は、あたかもライバル同士のようなのです。





## バロンとランダ

インドネシア・バリ島に伝わる祝祭劇「チャロナラン」に登場するバロンとランダは、光と闇を司る象徴的な存在で、劇中壮絶な戦いを繰り広げます。しかし、バロンが生（光）をランダが死（闇）を操ると考えられていることから、二者は勝ち負けを繰り返して決着はつきません。



ムンダマール

## チョウ

東インド・ブルリア地方の春祭りで演じられる動きの激しい仮面劇です。古代インドの二大叙事詩「ラーマヤナ」と「マハーバーラタ」から題材をとり、神々が魔神を制圧する戦いの場面が見せ場となっています。



## コーン

タイの宮廷舞踊劇コーンは、善の象徴「ラーマ王子」が悪の象徴「トサカーン」の率いる魔王軍を退散させる物語を演じます。仮面の形や色、飾りによって役柄が表現され、すっぽりとかぶるかたちをしています。



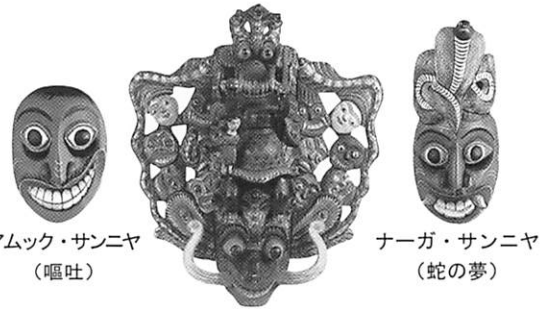
悪魔面

悪魔面

魔神面

## ワヤン・トペン

インドネシアのジャワ島やバリ島に伝承されている仮面劇です。ジャワ島での起源は12世紀と古く、宮廷で発達、後に民間でも演じられるようになりました。魔神面は舌を出し、悪魔面は大きく歪んだ口、大きすぎる鼻、かっつと見開く目などの特徴を持ち、まさに異形を表現しています。

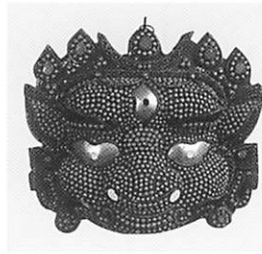


アムック・サンニヤ  
(嘔吐)

ナーガ・サンニヤ  
(蛇の夢)

## マハーカーラ・サンニヤカー/サンニヤクマ

スリランカの悪魔払いの儀式「トゥビル」のひとつ「サンニヤクマ」の儀式に用いられている仮面です。刃物と人形をつかんだ像が病魔大王で、背後の18の病魔を指揮し、人間の命を操ると信じられています。



## ラケー

ネパールの秋祭り「インドラジャドラ」で家々を訪れ、祝福を与える鬼神です。人々に祝福を与える反面、まつることを怠れば、災いをもたらすと言われていました。これは、日本の荒ぶる神と良く似た性質です。



## 祈とう師の面

チベットでは死者を鳥葬や風葬で送る風習があります。この仮面は、人骨で作られており、銀で細工が施されています。

北上市立 鬼の館 展示解説シート 世界の鬼面

北上市立  
鬼の館

〒024-0321 岩手県北上市和賀町岩崎16地割131番地

TEL 0197-73-8488 ・ FAX 0197-73-8508